

協伸商会穀物レポート [KKR] Vol. 006

(特集＝飛躍的に拡大する南米/ブラジルの穀物生産と輸出)

1/10 予定の USDA レポートは、既報の通り発行の見通しが立たないため今回は標記の通り穀物生産と輸出拡大が著しい南米/ブラジルを特集。

①下表に示す通り 95/96 年以降、南米/ブラジルの大豆・コーンの生産拡大の勢いは凄まじい。世界全体の穀物需要が増大する中で生産を急拡大、95/96⇒18/19 の 13 年間、世界大豆生産は約 3 倍(124⇒369 百万ト)、内 BRA は約 5 倍(24⇒122)と 1 億ト増、コーンは約 3 倍(32⇒ 94)6 千万ト増⇒計 1.6 億ト増。ARG もほぼ同様に大豆+コーン計 0.8 億トン近く増大し、南米全体の生産量が急拡大。特に両国の大豆生産量は 177/369 百万トと世界のほぼ半分を占めるに至った。

②この南米/BRA の生産拡大は、US との大豆輸出競合関係においても構造的変化をもたらしている。同期間の BRA 大豆輸出高は約 5.6 倍(17⇒97)8 千万ト増、コーンは約 3 千万ト増と生産増が輸出増に直結。ARG 大豆輸出は約 4 千万トの表記だが内 3 千万トが搾油後の大豆粕と特徴的。両国合計の大豆+コーン輸出量は 195/400 百万トと世界 share 約 50%に拡大。これは 95/96 比 (41/137)、数量で 154 百万ト増,share で 20%増と拡大著しい。

③BRA の大豆・コーン生産 1.8 億ト(2015 年)を南緯 16 度線で南北に分けた比率はほぼ 4:6 である。しかし輸出積出港数量比率は 8:2 と圧倒的に南部に集中している(別表 1)。これは北部のバルカレナ・イタキ港等へのアマゾン河川物流/道路網の脆弱性に起因しているが、現在マツグロソ州⇒船集積地ミリチトバ港への国道 163 号線の延伸工事中であり北部物流網開発が進んでいる。特に、船利用港のミリチトバ・ルートが確立されればアマゾン下流サンタレン・バルカレナ港等に連結され、輸送コストが南部サントス港への陸送比約 20%削減が可能となり、パナマ運河経由アジア向け輸出拡大が期待される。

④一方、積出の集中する南部サントス・パラナグア港等は穀物サイロ不足・港湾インフラ老朽化等による滞船が常態化すると同時に産地からのトラック物流が高コストであり、2015 年調査では US 船コストの 4 倍近くとなっている(別表 2)。結果的にこの物流コスト差は C&F 価格がほぼ同一とすれば BRA 産地価格の▼によって競争力を保持している。

[大豆]	生産量			輸出量			増加率	
	A	B	C	a	b	c	① C/A	② c/a
BRA	24.15	96.50	122.00	17.28	71.34	97.58	505%	565%
ARG	12.48	56.80	55.50	11.97	45.94	39.90	445	333
USA	59.17	106.85	125.18	29.08	64.55	65.18	212	224
TTL	124.69	313.31	369.20	66.96	209.72	233.58	296	349
[コーン]								
BRA	32.48	67.00	94.50	0.26	15.00	29.00	291%	~ %
ARG	11.10	29.00	42.50	11.97	21.70	28.00	383	234
USA	187.97	345.50	371.52	56.58	48.20	62.23	198	110
TTL	516.71	961.10	1099.91	70.42	121.11	166.46	213	236

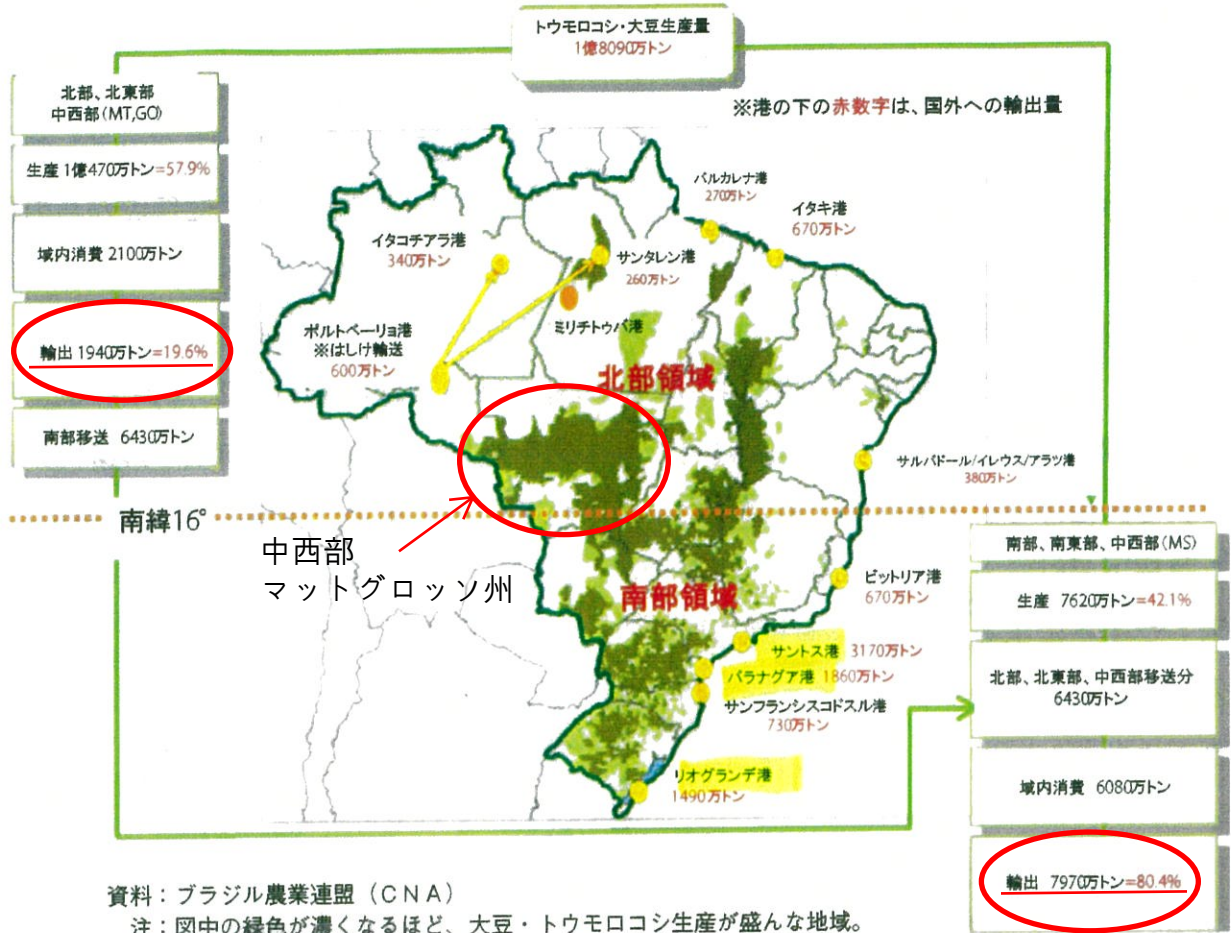
出所：USDA World Agricultural Supply & Demand Estimates

備考：◎単位=百万ト,年度 Aa=95/96,Bb=15/16,Cc=18/19,①生産増②輸出増%

◎大豆輸出=大豆粒・大豆粕・油の合計,18/19TTL⇒粒 156,粕 66,油 11 百万ト

(別表1)

2015年のブラジルの生産・輸出構造 (大豆+トウモロコシ)



(別表2)

各国主産地から中国への輸送費の比較 (2015年)



資料：マットグロッソ州農業経済研究所 (IMEA)

(別表3)

ブラジルの大豆・トウモロコシの生育カレンダー

(■ : 播種 ■ : 収穫)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
大豆		*	*	*	*					*	*	*	*
トウモロコシ(第1期作)		*	*	*	*					*	*	*	*
トウモロコシ(第2期作)	*	*	*	*		*	*	*	*				

資料：CONABのデータを基に、作成

注：主要生産州の播種および収穫期に基づいて作成。*印は、最も盛んな時期。